慶應義塾大学主催 法律学講座2016

雑学から法学へ ―気になる論点を読み解く

受講生募集

2016年11月19日(土)より全4回開講

日頃からテレビや新聞をにぎわす論点を「雑学」のレベルから「法学」のレベルに引き上げて、考えてみませんか?会社のガバナンスといっても 正直どこまでまともにやる必要があるんだろう,サイバー攻撃にさらされても打つ手はあるのだろうか,まわりに鉄道マニアが多いけれど 刑法とどんな関係があるんだろう、安保法案の合憲・違憲がニュースをにぎわしたけれど正直なところよくわからない…。そんな切り口から、 慶應義塾大学法科大学院の教員が分かりやすく解説します。最近の法的諸問題に関心をもつ皆さん,企業や法律事務所などで実際に法に関わ る仕事に携わっている皆さん、法科大学院への進学を選択肢の1つと考えている方々など、幅広い層の方々へ本講座の受講をお勧めします。

場: 慶應大阪シティキャンパス **日程・講師プロフィール** 受講定員70名に達し次第、受付を終了させていただきますので予めご了承ください 申込方法・受講料等は裏面をご確認ください

第1回 11月19日(土) 14:00~17:00



菅原 貴与志 慶應義塾大学法務研究科教授·弁護士

1979年慶應義塾大学法学部法律学科卒業,1981年同経済学部卒業。現在,慶應 義塾大学法務研究科教授,弁護士(弁護士法人小林綜合法律事務所所属),法 制審議会商法部会委員(2014年~)。専門分野は、会社法、経済法、国際取引法、 情報法,リスク・マネジメント等の企業法務全般。著書に『新しい会社法の知識』 (商事法務),『詳解 個人情報保護法と企業法務』(民事法研究会),『英文契約 書の法実務 (三協法規) などがある。

株式会社の基本構造とガバナンス強化の潮流

本講前半の理論編では、株式会社の基本構造を主題として、会社法の 全体像を有機的・立体的に考察します。ここでは、商法・会社法に 馴染みのない方でも理解できるよう、基礎から最新の改正動向まで. わかりやすく説明するつもりです。それを踏まえて、後半の実務編で は、企業経営者の法的責任論を中心に、最近の実務で話題となってい るガバナンス強化の潮流について、会社法の視点から検証を試みたい と思います。

第2回 12月17日(土) 14:00~17:00



青木 節子 慶應義塾大学法務研究科教授

1983年慶應義塾大学法学部法律学科卒業。1990年カナダ、マギル大学法学部付属 1900年度応報金ステムチログロドチャイキネ。1930年カライ、マンステムチロリカ 航空・宇宙法研究所博士課程修了(1993年、法学博士号 (D.C.L.) 取得)。立教 大学法学部助手、防衛大学校社会科学教室専任講師、同助教授、慶應義塾大学 総合政策学部助教授、同教授を経て2016年4月より慶應義塾大学法務研究科教 -ラム・プログラム,宇宙法総合合同演習等を担当。 授。国際法基礎, 国際法務フォー 18、回称は金融、回称は377/37 プレイン・アロルのようには、国際法の中で特に宇宙法、軍備管理・不拡散問題等を研究する。単著として 『日本の宇宙戦略』、共著として『Soft Law in Outer Space』、『環境と法』等。

サイバー武力紛争を規律する国際ルールの検討

サイバー攻撃により生じた市民生活の大混乱や大きな経済的打撃に対 して、被害国はどのような対抗措置を取ることが許容されるのか。自 衛権の行使が可能になるのはどのような場合か。サイバー空間で完結 する武力紛争はありうるのか等、新しい「空間」での新しい型の武力 紛争の態様と紛争解決のための国際ルールの現状を、具体的な仮想 ケースを設定しつつ検討する。

1月21日(土)14:00~17:00



和田 俊憲 慶應義塾大学法務研究科教授

1998年東京大学法学部卒業。東京大学助手,北海道大学助教授,慶應義塾大学 准教授を経て 2013年より現職。専攻は刑法。時刻表検定1級 弁護士。研究では 被害者の保護を図るために犯罪者の処罰を軽くするという逆説的な制度に興味 があり、教育では、鉄道事件のみで刑法を学ぶ「鉄道と刑法」や、田植え・稲 刈り実習付きの「農業と法」といった新しい授業方法を試している。著書として、 『鉄道と刑法のはなし』(NHK出版)、『ひとりで学ぶ刑法』(有斐閣)など。

鉄道刑法学入門

福澤諭吉が『西洋事情』で欧州の「鉄道」を我が国に初めて紹介して から、ちょうど150年。その鉄道の歴史は鉄道犯罪の歴史でもあります。 この講義では、実際に起きた鉄道関係の刑事事件における検察官や弁 護人の主張と裁判所の判断を、「鉄道刑法学」の体系に沿って紹介し ていきます。刑法を切り口にすることで、普段何気なく利用している 鉄道を見る目が変わり、また、鉄道を題材にするので、刑法がぐっと 身近に感じられるはずです。

2月25日(土)14:00~17:00



駒村 圭吾 慶應義塾常任理事,慶應義塾大学法学部教授

1984年慶應義塾大学法学部卒業・1989年慶應義塾大学大学院法学研究科単位取 得退学·2000年博士(法学)。白鷗大学法学部助教授, 同教授, 慶應義塾大学 法学部助教授等を経て、現在、同法学部教授。専攻は憲法・言論法・人権基礎論。 特定の論点をほりさげるのではなく、解決済みと思われている憲法上の論点を 現代危機の観点から広く再検証している。著作に、『権力分立の諸相』(南窓社)、 『ジャーナリズムの法理』(嵯峨野書院), 等。

安保国会をふりかえる -74年政府見解をきちんと読む

日本全体を巻き込んだ2015年安保国会。政治家, 国民, 憲法学者を巻 き込んでの一大論争でした。しかし、そこで問題となった憲法論を実 はきちんと理解されていないように思われます。国際情勢が激変した んだから、世間知らずの学者や法律家は黙っていろ、と言わんばかり の人もいました。でも、それでいいのでしょうか。本講座では違憲論 の基礎をきちんとテキストを読むところから始めたいと思います。

慶應義塾法科大学院について (http://www.ls.keio.ac.jp/)

本講座の講師が教鞭をとる慶應義塾大学大学院法務研究科は、「国際性」「学際性」「先端性」を教育理念とし、21世紀の法曹界の先導者の養成を 教育目標として2004年に誕生した法科大学院です。すでに、慶應義塾大学三田キャンパスにおいて、法律家のマインドとスキルを学んだ多くの修了生 たちが、新時代をになう法曹として社会で活躍しはじめています。(同研究科の2016年司法試験結果は、合格者数155名で全国法科大学院中第1位、合格 率は44.3%で全国4位・私大1位でした。)

本講座の会場となる慶應大阪シティキャンパスは、福澤諭吉ゆかりの地である大阪に開設した、慶應義塾がセミナーや公開講座など情報発信や交流 の場として展開をめざす施設です。

▼ 慶應大阪シティキャンパス

会場・お問合せ先

慶應大阪シティキャンパス(KOCC)事務局

※キャンパスには駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

〒530-0011 大阪市北区大深町3-1

グランフロント大阪 ナレッジキャピタル 北館タワーC 10階 TEL:06-6359-5547 (平日9:30~17:30) FAX: 06-6359-5548 URL: http://www.korc.keio.ac.jp/ E-Mail: keiokorc@info.keio.ac.jp JR大阪駅、阪急梅田駅、阪神梅田駅、地下鉄梅田駅・西梅田駅・東梅田駅より徒歩。 北館タワーC1階のオフィスエントランスよりナレッジオフィス専用エレベーター(B)で10階へ。

慶應大阪シティキャンパス (北館タワーC ナレッジオフィス10階) ナレッジキャピ! JR北新地駅

[北館1F]



雑学から法学へ になる論点を読み解

申込要領

①申込み登録

FAX申込:下記に必要事項をご記入の上お送りください ₩ 06-6359-5548

Web申込:下記URLまで (10/19(水)11:00より受付開始) http://www.korc.keio.ac.jp

お問合せ: 慶應大阪シティキャンパス事務局 06-6359-5547 (平日9:30~17:30)

②受講料請求書を受領

申込登録を事務局が確認後、事務局より請求書を郵送(またはE-Mail) にてお送りいたします。

③受講料の支払い

請求書に記載の指定期日までに指定口座へお振込みください。 (振込手数料はご負担願います)

ご入金は、必ず受講申込書に記載されたお申込者様の名義でお願いい たします。

④受講決定通知(受講券)を受領

事務局でご入金を確認後、「受講決定通知(受講券)」を郵送(またはE -Mail) にてお送りいたします。

⑤当日、講座を受講

必ず「受講決定通知(受講券)」をご持参ください。

- ◎受講には「六法」が必要となります。小型のもので結構ですので各自ご準備ください。
- ◎受講定員70名に達し次第、受付を終了させていただきますので予めご了承ください。

X	「慶應大阪シティキャンパス 『雑学から法学へ ―気になる論点を読み解く』 受講申込書	年	月	日申込
---	--	---	---	-----

全4講演一括申込み〈9,000円(税込み)〉							枚	合計	金額				
各回申込み〈各2,500円(税込み)〉													円
第1回	11/	19(土) ~17:00 普	原貴与志		の基本構造と ス強化の潮流	枚	第3回	1 /	21(土) 00~17:00	和田俊憲	鉄道刑法学入門]	枚
第2回	12/ 14:00	17(土) ~17:00	木節子	サイバー武力 国際ルールの	力紛争を規律する D検討	枚	第4回	2/ 14:0	25 (土) 00~17:00	駒村圭吾	安保国会をふり 一74年政府見解をき		枚
フリガナ							会社・団	体名					
申込者名						所	属						
(個人・企業団体等)				役	職								
	ご連絡先	₹	-		_								
ご連絡		住 所			都 道 府 県								
		TEL		()		FΑ	Х	()		
		E-mail						今後、	慶應義塾加	いらの案内を	希望する	一名	望しない